

全日本バレーボール選手権(春の高校バレー)埼玉県予選 結果報告

11月6日(金) @ サイデン化学アリーナ

創部5年で初めて掴んだ県大会への出場権。3年生も含めた19人で挑める最後の大会でした。

初戦の相手は、県立川口青陵高校。公立ながら、県内の強豪中学校から有望選手が集い、関東大会・全国大会を目指して活動している強豪校で、南部地区優勝で県大会へ進んできたチームです。県大会でないと実現しない強豪校との対戦となり、非常にワクワクしました。

初の県大会ということもあり、緊張も見られた序盤でした。相手のクイックや時間差攻撃に翻弄され、なかなか1点目が取れない…とと思っていましたが、ミドル 河村(3年)とサイド 清水雅(3年)のブロックポイントで1点目を奪取。その後は、リベロ 大橋(2年)の丁寧なサーブレシーブから、セッター 鈴木(3年)が相手を見ながらトスを振り、サイド 清水雅(3年)が強烈なスパイクポイント!また、ミドル 古川(2年)のドンピシャブロック!…などのシーンも飛び出しました。そのままなんとか流れを掴みたい状況でしたが…慣れない会場からかサーブミスも出てしまい流れに乗り切れず…また、相手の守備力が非常に高く、サイド 清水晟(3年)や金子(2年)のスパイクも粘り強く拾われてしまい…1セット目を落としてしまいます。



2セット目も、序盤から相手に走られる展開に。相手のコンビバレーが完成してきてしまい、エースに打ち切られてしまうシーンが増えてきました。リベロ 内田(2年)が後ろから声をかけ続けたり、福島(2年)、岡部(2年)をピンチサーバーとして投入したりして流れを変えるための手段をすべて使い切るも…最後まで流れは相手のまま。あっという間に終わってしまいました。

特別、難しいことをされたわけでは無かったように思います。相手の雰囲気によって圧倒されてしまい…県大会という舞台に圧倒されてしまい…力を出し切れずに終わってしまったという印象です。この試合が3年生最後の試合になってしまったことは、正直、非常に悔いが残ります。



「県大会出場」を目標に頑張ってきた19人でしたので、その目標を達成し、気付かないうちに心は満足してしまっていたのだと思います。「最初の目標をどこに設定するか。そして仮にその目標を達成した場合、その後の目標設定をすぐにして気持ちをいかに次に向けるか。」これはバレーボールだけでなく、色々な面で難しい課題だと感じました。悔しいですが、3年生は今回の経験を、次のステージで何らかの形で生かして欲しいと思っています。1・2年生は、この悔しさをまた【県大会】で晴らさないといけません。



この県大会に出場するにあたり、本当に多くの皆さんに声をかけていただきました。書道部さんにも、立派な横断幕を作成していただきました。とにかく、「感謝」のみです。結果で恩返しできず申し訳ないです。

保護者の皆様におかれましても観戦できないという状況の中でたくさんのご尽力をいただき、本当にありがとうございました。

3年生はこれで引退となります。新チーム始動。新人戦まではあっという間です。3年生が残してくれたものを大切にしながら、しっかり気持ちを切り替えて、また頑張ります。今後も滑川総合男子バレー部を、どうぞよろしくお願いいたします。

顧問 山田千瑛

